

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 主幹動脈閉塞脳梗塞における脳灌流画像から得られる虚血コア、ペナンブラ領域と治療結果の検討、及び治療による急性期神経障害と予後予測因子の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 脳神経外科 職位・氏名 院内講師・藤田 聡

【試料・情報の利用目的】

東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科では、主幹動脈閉塞(大脳に血液を供給する主要な血管が詰まってしまうこと)による脳梗塞を発症した患者さんに対し、大脳への血液の供給状態を詳細に解析可能なソフトウェアを用いて脳血流を評価し、最適な治療方針を迅速に決定することを目的として本研究を計画しました。患者さんの診療録(カルテ)より取得した情報を本研究に利用します。この研究で得られる成果は、より良い脳梗塞治療のご提案につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 年齢、性別、発症時間、病院到着時間、画像評価時間、治療開始時間、治療終了時間、虚血コア領域体積(すでに脳梗塞になっている部分の体積)、ペナンブラ領域体積(脳梗塞になりかけている部分の体積)、治療デバイス(治療に用いる道具) 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025 年 9 月より利用を開始します。

【試料・情報の取得方法】

対象者: 2019 年 11 月～2024 年 12 月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科に入院し、前方循環脳血管閉塞(大脳の前方 2/3 に血液を供給する 3 本の主要な血管が詰まったこと)による脳梗塞と診断され、Vitrea workstation (ヴィトリアワークステーション)*にて画像評価を行い、2025 年 3 月 31 日までに観察期間 3 か月を終了された方。(80 症例程度を予定)

*Vitrea workstation (ヴィトリアワークステーション):

CT の画像から、すでに脳梗塞になっている領域と、脳梗塞になるであろう脳血流が低下した領域を算出、表示することができる全自動画像解析プログラム。

方 法: ヴィトリアワークステーションによって描出された脳内の血流を評価する画像と、下記項目の診療情報を診療録(カルテ)より取り出し、データ解析します。

【研究組織】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師：藤田 聡 役職：院内講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 院内講師 藤田 聡

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025 年 11 月 30 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、患者さんご本人はもちろん、ご家族等、代諾者の方からのお問い合わせもお受けいたします。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科
職位・氏名：院内講師 ・ 藤田 聡
電話： 03-3468-1251 内線： 7436